

東浦路の一部

# 「市指定文化財に」

朝善寺 | 保護審、教委へ建議  
網代峠区間



市文化財保護審議会が市指定文化財にするよう市教委に建議した東浦路の一部＝宇佐美

伊東市文化財保護審議会（佐藤康会長）が26日、市役所で開かれ、宇佐美の「東浦路」（朝善寺道標―網代峠区間、約1・9㌔）が歴史的に価値が高く、後世に伝え残す必要があるとして市指定文化財（史跡）にすることで意見がまとまり、市教育委員会に建議した。市教委は4月の定例会で審議する。

東浦路は江戸時代の文献から老中松平定信、吉田松陰らを通つたとされる。2011年度にも文化財への指定が議題に上がったが、道沿いにある多くの石造物などの文化財や景観も含めて指定にすることだったため、現状では難しいとの判断で見送られた。今回の指定は公団上の赤道のみで、遺跡の存在周知と保護への啓発活動が目的。測量などによる土地境界が画定するまで、史跡整備は行わないという。東浦路については、江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存協議会（森篤代表）が昨年11月に市文化財に指定するよ

30327 伊豆新聞